

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施期間	平成21年度～平成25年度（5年間）																	
事業実施地区名 （都道府県名）	かみかわなんぶ 上川南部森林計画区 （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署																	
完了後経過年数	4年		管 理 主 体	上川南部森林管理署																	
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央の内陸部に位置し、上川総合振興局管内南部の1市2町1村に所在する国有林約115千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約21%にあたる約25千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割近くとなっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域の森林には、鷓川の源流部も位置しており、流域内のみならず、下流域の水源地として、また、基幹産業である農業の振興に資する観点で水源涵養の役割を果たすことが求められている。</p> <p>また、十勝岳をはじめとする道内有数の火山地帯であり、大正15年の十勝岳火山泥流災害をはじめ数次の火山災害が発生しており、森林による泥流緩衝効果も期待されることから、山地保全の役割が強く求められる地域ともなっている。</p> <p>林業・木材産業は、地域の豊富な木材資源を背景として、農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところである。今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>一方、大雪山系、夕張山地を中心として優れた山岳景観を有し、大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園が指定されており、山岳、温泉等の観光資源に恵まれていることから、道内外から多くの観光客が訪れている地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>30 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>6,062 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>13.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>2.3 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,107,067 千円（税抜き 2,006,731 千円）</p>					森林整備	更新	面積	30 ha		保育	面積	6,062 ha	路網整備	開設	延長	13.6 km		改良	延長	2.3 km
森林整備	更新	面積	30 ha																		
	保育	面積	6,062 ha																		
路網整備	開設	延長	13.6 km																		
	改良	延長	2.3 km																		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 25,570,746 千円（平成20年度の評価時点：5,016,319 千円※） 総 費 用（C） 4,873,025 千円（平成20年度の評価時点：599,832 千円※） 分析結果（B/C） 5.25 （平成20年度の評価時点：8.36 ※）</p> <p>※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																				
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業体に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社</p>																				

	会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、稲作を中心として、畑作、酪農等の農業が展開されている。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にあり、そのうち林業就業者数も、平成17年度の220人から平成27年度には122人に減少しており、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(上富良野町^{かみふらの})</p> <p>本町に位置する十勝岳は道内有数の活火山であり、数次に亘り泥流等の火山災害が発生していることから、今後も、国有林が持つ山地災害防止機能等の多面的機能の持続的な発揮のため、事業の継続を要望する。</p> <p>(占冠村^{しむかづぶ})</p> <p>村内の森林のうち国有林の占める割合が高い本村において、森林整備が着実に実施されたことは十分評価できるものであり、同事業の継続と国有林の整備を要望します。</p> <p>また、民有林事業者等の見本となるよう今後も森林管理をお願いいたします。</p> <p>(富良野市^{ふらの})</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、今後も森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう継続的な森林整備の実施をお願いするとともに、保健・文化・教育的な利用の場の提供を期待する。</p> <p>(南富良野町^{みなみふらの})</p> <p>国有林の占める割合が約9割である本町において、国有林の森林整備が着実に実施され、水源のかん養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待しています。そのような中で本町が策定した南富良野町森林・林業マスタープランの目的達成や絶滅危惧種である「イトウ」の保全に常日頃から協力頂いている本事業は、適正に執行され健全な森林として成林していることから十分に評価できるものであると考えます。</p> <p>今後も、本事業の継続と着実な整備を行っていただき、森林の持つ多面的機能の高度発揮と民有林事業者等の見本となるような森林管理をよろしくお願い致します。</p>

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <p>本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業に配慮した施業実施が求められている地域である。</p> <p>また、火山や急峻な地形もあることから、山地保全の役割が求められており、地球温暖化防止対策、木材の安定供給のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。</p> ・ 効率性 <p>事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> ・ 有効性 <p>本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。</p> <p>また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：北海道

施行箇所：上川南部森林計画区(上川南部森林管理署)

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	6,071,206	
	流域貯水便益	2,247,121	
	水質浄化便益	4,675,203	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,321,830	
環境保全便益	炭素固定便益	2,014,493	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	337,030	
	木材利用増進便益	399,486	
	木材生産確保・増進便益	1,401,389	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	557	
	森林管理等経費縮減便益	43,007	
	森林整備促進便益	59,424	
総 便 益 (B)		25,570,746	
総 費 用 (C)		4,873,025	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{25,570,746}{4,873,025}$		= 5.25

